

現地審査に基づく認証評価

奄芸郡田井郷／三重県津市大里陸合町 山田井の千年村認証について、2017年6月5日（月）に行った現地審査（審査員：菊地暁・佐々木葉・元永二郎）を別紙のとおり行った。それを踏まえて、以下のように評価する。

1. 全体評価

- 集落地・耕作地・樹林地といった土地利用が地形構造上非常に明快なかたちをとっている。この合理性ゆえに長らく生活が営まれてきたと思われる。災害もなく、住みやすい、耕作しやすい空間構造が継承されている。
- 地域外の論理によって建設されたインフラによって、空間構造に大きな変化がもたらされているにもかかわらず、基本的な構成原理と生産構造、社会構造が今現在は継承されている。
- しかし、道路によって分断されながらも集落と谷戸状の地区の関係を継続するためには、そのことを明確に意識した取り組み、戦略が必要と考えられる。特に谷戸状の地区は、かつては燃料などの資源供給場所として居住地の存続に必要な存在であったため、川をまたいだ離れた場所にあっても利用、管理が継続されてきたが、里山資源の利用価値がなくなったことと道路による耕作面積の低減と分断がなされた現代において、この地区を山田井の構成要素として維持し続けるメカニズムの再構築が早急に必要と考えられる。
- 自治会として千年村認証についての合意が得られており、地域としての積極性が非常に高い。
- 今後の農地集約などによる営農継続、集落存続への意志が強いメンバーの存在とその協力体制がある。
- 千年村を集落内の住民に向けてのメッセージととらえ、自らの集落の価値認識を高めることが認証動機の基本にある。

2. 認証評価

以上より、千年村への認証は適当であると判断する。